

リコーと OKI、A3 モノクロプリンターのプリンターエンジンを共同開発 ～戦略的な協業によりモノづくりを効率化し、開発期間を約3割短縮～

株式会社リコー（東京都大田区、代表取締役 社長執行役員：山下 良則、以下 リコー）と沖電気工業株式会社（東京都港区、代表取締役社長：鎌上 信也、以下 OKI）は、A3 モノクロプリンターのプリンターエンジン（印刷機構）を共同開発しました。今春、本エンジンに自社製のプリントコントローラー（制御機構）を独自に搭載した新商品を、両社がそれぞれに国内市場向けに発売します。今回の共同開発は、OEM とは異なり、両社の強みを持ち寄ってプリンターエンジンの開発を企画段階から協業して進めたもので、開発期間を従来比で約3割短縮し、開発効率の向上を実現しました。

■協業の背景

リコーは、2021年度から2か年の第20次中期経営計画において、「OA メーカーからの脱皮」と「デジタルサービスの会社への事業構造の転換」を掲げています。オフィスプリンティング分野のものづくりを担うリコーデジタルプロダクツビジネスユニットではオペレーショナルエクセレンスの追求に取り組んでおり、事業成長に向けてより一層効率的な開発投資が求められる中で、独自技術を囲い込まずに、OEM 提供の拡大など、競争優位な分野においても積極的な他社協業に取り組んでいます。

OKI は、2022 年度を最終年度とする「中期経営計画 2022」において「社会の大丈夫をつくっていく。」をキーメッセージに、これまでに培ったモノづくりを通じて社会課題を解決することを掲げています。コンポーネント事業分野では、これまで培った技術や強みのある商品・モジュールをパートナーへ広く供給することを重点戦略の一つとして、他社との協業の強化に取り組んでいます。

■今回の協業について

A3 モノクロプリンターは、主に国内の官庁・自治体や医療、金融市場などを中心に業務プリンターとして活用されています。両社は今回、それぞれのお客様の声を持ち寄って製品仕様を決めるなど、企画段階から協業して開発にあたりました。印字部分には高精度・高信頼性を実現し装置の小型化に寄与する OKI の LED プリントヘッドを採用、業務用途で重要となる幅広い用紙対応力や高信頼性を実現する用紙搬送機構をリコーが担うなど、両社の強みとなる技術を組み合わせています。また、メンテナンス作業が前面から行えるフロントアクセス構造により使い勝手の良い商品が実現できます。

両社は今後も開発効率のより一層の向上に向けた取り組みを加速し、さまざまなパートナーとの協業を推進することで、顧客価値向上と効率的なモノづくりの実現に取り組んでまいります。

- 沖電気工業株式会社は通称を OKI とします。
- その他、本文に記載されている会社名、商品名は一般に各社の商標または登録商標です。

----- 本件に関するお問い合わせ先 -----
リコー 広報室 電話：050-3814-2806 E-mail：koho@ricoh.co.jp
OKI 広報部 電話：03-3501-3835 E-mail：press@oki.com